

PRESS RELEASE

2007年8月1日

### Vリーグ女子・久光製薬スプリングス 落合真理選手の引退について

バレーボールVリーグ女子・久光製薬スプリングス(本拠地:佐賀県鳥栖市)の主将で全日本候補の落合真理選手(25)が 現役を引退することになりました。

落合選手は昨年より持病である膝痛が思わしくなく、シーズン終了後に検査を受けたところ、手術とリハビリが必要であることが判明。過去に左膝半月板を損傷し長期のリハビリを経て復帰した経緯もあり、再度のリハビリで現役を継続することが難しくなったと現役引退を申し出。チームとしては慰留に努めましたが、本人の意思は固く、7月末日をもっての退団を了承しました。

落合選手は成徳学園高(現・下北沢成徳高)から日立ベルフィーユに入団後、2002年に久光製薬スプリングスに移籍しサイドアタッカーとして活躍。2005年からは主将としてチームをまとめ、今季はV・プレミアリーグ、日韓トップマッチ、第56回黒鷲旗の3大会で優勝、チームの三冠獲得を牽引しました。また2006年には全日本に選ばれ世界選手権で活躍し、今春も全日本の登録メンバーに選出されていました。

本件に対するお問い合わせ

久光製薬株式会社

広報室室長 柁島光政

TEL 03-5293-1732 / FAX 03-5293-1741